

福島県立安積中学校・高等学校（仮称） 教育内容に関する基本計画

県教育委員会では、令和2年2月に策定した「中高一貫教育後期実施計画」に基づき、新たな中高一貫校として、県立中学校を安積高等学校に併設型で設置することとしました。

この度、その開校に向けて「福島県立安積中学校・高等学校（仮称）教育内容に関する基本計画」を策定しましたので、以下に概要を示します。

◇ 「福島県立安積中学校・高等学校（仮称）教育内容に関する基本計画」の概要

1 福島県立安積中学校・高等学校（仮称）の概要

開校（予定）年度	令和7年度
設置場所	福島県立安積高等学校（郡山市開成）
生徒募集定員	中学校60名（2学級）
※高等学校の生徒募集定員（併設中学校からの入学予定者数を含む）は、年度ごとに策定し公表する。	
通学区域	県下一円

2 教育目標・教育方針等

- （1）安積の精神
開拓者精神 質実剛健 文武両道
- （2）教育目標
全人教育を目指し、知・徳・体を錬磨し、次代を担い、人類に貢献できる、志高く有為な人材を育成する。
- （3）教育方針
①個性を伸長する。②知性と情操と実践力を育てる。③自主自律の精神を培う。
④未知の領域に果敢に挑戦する高い志を育てる。⑤真理と正義を愛する、質実にして真摯な人物を育成する。
- （4）スローガン
「未来を描き、未来を創る開拓者」

○ 新設整備する校舎の概要（参考）

- （1）建設場所
安積高等学校の現図書館、家庭総合実習室及び駐輪場のある敷地東側
- （2）施設規模
鉄筋コンクリート造、一部木造・鉄骨造 3階建て
延べ床面積約4,450㎡
- （3）整備方針
貴重な財産である安積歴史博物館の壮大な外観を空間の骨格に据えた新校舎
① 主体的、対話的で深い学びを実現するための施設
例：交流ラウンジ、多目的スペース、少人数教室
②中学生と高校生が共に学ぶ環境を実現するための施設
例：図書館、大講義室
③生徒の興味関心を引き出す環境を実現するための施設
例：特別教室準備室の見せる壁面収納
- （4）工事計画
既存施設解体等 令和5年 3月～
新築工事 令和5年10月～
完成予定 令和7年 2月

次世代の
福島・日本・世界を牽引するトップリーダー

—— 安積高校の目指す生徒像 ——

開拓者精神のもと、高い志をもち、
文武両道を貫きながら、自分の夢の実現に向けて努力を続ける生徒

中高一貫教育の前半3年間で育む資質・能力

課題解決に向けて多くの学びを得ようと探究できる粘り強さ
他者を思いやり、相手の立場になって異なる意見も受け止め、協働できる心の豊かさ
困難や逆境にあったとしても、失敗から学ぶことができるしなやかさ

3つの学びをつなぐ STEAM 教育

探究的な学び

- 総合的な学習の時間の充実
プロジェクト学習と多様な
他者との協働
- 教科横断的で質の高い学び
プロジェクト学習と各教科
を往還する学び
- 授業時数の増加
探究心を満たす発展的かつ
高度な内容の実施

世界志向の学び

- 本物・本質に触れる体験活動
F-REI、福島イノベ、美術
館などとの連携
- キャリア教育の充実
EdTech 教材による自己啓発
同窓生講話
- 理数教育の充実
サイエンスラボ、科学の甲
子園などへの参加
- プレ医学コースの開設
- 発信力・表現力を育む語学体験
国内外での語学研修

協働的な学び

- 多彩な学び、きめ細かな指導
少人数教室、交流ラウンジの
効果的な活用
- 学びをつなげ、学びを深める ICT 活用
交流・連携のための ICT 機
器の日常的な活用
- ICT 教材の導入
- 中高交流、中高連携の取組
プレ医学コース、中高合同行
事、中高共用図書館

安積中高一貫教育 6 年間のスローガン
「未来を描き、未来を創る開拓者」

教育目標

全人教育を目指し、知・徳・体を錬磨し、次代を担い、人類に貢献できる、志高く有為な人材を育成する。

教育方針

- ①個性を伸長する。
- ②知性と情操と実践力を育てる。
- ③自主自律の精神を培う。
- ④未知の領域に果敢に挑戦する高い志を育てる。
- ⑤真理と正義を愛する、質実にして真摯な人物を育成する。

安積の精神

開拓者精神

質実剛健

文武両道